

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・・・・・・・・定率法

構築物・・・・・・・・・・定率法

車両運搬具・・・・・・・・定率法

什器備品・・・・・・・・定率法

ソフトウェア・・・・・・・・定額法

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

貸倒引当金・・・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
・土地	117,234,298	0	0	117,234,298
・建物	47,394,681	1,553,010	3,118,976	45,828,715
・構築物	882,077	0	176,413	705,664
・車両運搬具	2,158,990	0	919,472	1,239,518
・什器備品	3,469,738	4,563,900	2,037,291	5,996,347
・電話加入権	42,000	0	0	42,000
・ソフトウェア	272,161	0	90,720	181,441
・退職給付引当預金	38,772,280	5,411,920	0	44,184,200
・緊急輸送対策積立預金	11,400,000	650,000	0	12,050,000
・近代化基金	<u>1,174,529,856</u>	<u>5,000,000</u>	<u>13,160,000</u>	<u>1,166,369,856</u>
普通預金	4,529,856	0	3,160,000	1,369,856
定期預金	20,000,000	5,000,000	0	25,000,000
有価証券	1,150,000,000	0	10,000,000	1,140,000,000
・会館運営基金	<u>396,000,000</u>	<u>104,500,000</u>	<u>86,000,000</u>	<u>414,500,000</u>
普通預金	9,000,000	0	9,000,000	0
定期預金	67,000,000	4,500,000	67,000,000	4,500,000
有価証券	320,000,000	100,000,000	10,000,000	410,000,000
・記念事業積立預金	4,000,000	0	1,650,000	2,350,000
・事業運営積立預金	5,000,000	0	0	5,000,000
・青年部会活動預金	375,619	32	0	375,651
・矢板TS運営現預金	3,391,793	186,677	0	3,578,470
合 計	1,804,923,493	121,865,539	107,152,872	1,819,636,160

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
・土地	117,234,298	117,234,298	0	0
・建物	45,828,715	45,828,715	0	0
・構築物	705,664	705,664	0	0
・車両運搬具	1,239,518	1,239,518	0	0
・什器備品	5,996,347	5,996,347	0	0
・電話加入権	42,000	42,000	0	0
・ソフトウェア	181,441	181,441	0	0
・退職給付引当預金	44,184,200	0	0	44,184,200
・緊急輸送対策積立預金	12,050,000	7,050,000	5,000,000	0
・近代化基金	1,166,369,856	1,166,369,856	0	0
普通預金	1,369,856	1,369,856	0	0
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	0
有価証券	1,140,000,000	1,140,000,000	0	0
・会館運営基金	414,500,000	407,700,000	6,800,000	0
普通預金	0	0	0	0
定期預金	4,500,000	0	4,500,000	0
有価証券	410,000,000	407,700,000	2,300,000	0
・記念事業積立預金	2,350,000	0	2,350,000	0
・事業運営積立預金	5,000,000	0	5,000,000	0
・青年部会活動預金	375,651	0	375,651	0
・矢板TS運営現預金	3,578,470	3,578,470	0	0
合 計	1,819,636,160	1,755,926,309	19,525,651	44,184,200

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額、減損額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額、減損額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	減損額	当期末残高
・建物	239,893,997	178,974,744	9,905,434	51,013,819
・構築物	9,160,990	8,011,123	444,202	705,665
・車両運搬具	13,248,581	10,126,771	61,664	3,060,146
・什器備品	36,828,128	28,265,565	2,442,887	6,119,676
・ソフトウェア	1,579,000	1,225,352	47,467	306,181
合 計	300,710,696	226,603,555	12,901,654	61,205,487

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
・利付商工債券	1,140,000,000	1,140,000,000	0
・日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	98,770,000	△ 1,230,000
・大和証券G本社債券	10,000,000	10,040,000	40,000
・栃木県公債券	100,000,000	100,729,000	729,000
・東京電力パワークリット債券	200,000,000	204,640,000	4,640,000
合 計	1,550,000,000	1,554,179,000	4,179,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,342,858
使途制約解除による振替額	358,106,415
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	14
合 計	364,449,287